

# あなたの寄附が杉並の未来をつくる

これからの未来を作っていく取り組みとして、区には寄附の制度があります。ふるさと納税も寄附制度の一つですが、お得感のある返礼品を得るために寄附をするケースも多いことから、都市部の自治体での税の流出が社会問題となっています。区は返礼品競争に参入することなく、ふるさと納税を通して健全な寄附文化を育む視点からのメニューをご用意しています。コロナ禍に見舞われたこの1年の年の瀬に、杉並の未来をつかっていく一つの方法として寄附制度の活用を検討してみたいと思います。お問い合わせは、区民生活部管理課ふるさと納税担当へ。



Q1 区へ寄附をすると、  
どういったメリット・  
デメリットがあるの？

A1

寄附により、次代を担う子どもたちの育成やNPOへの支援、みどりの基金など、お金の使い道を自分の考えで決めることができます。また、寄附金額から2000円を引いた額について、税金の控除を受けることもできます(収入に応じて控除額に限度あり)。一方、区民税が控除された分だけ、行政サービスに充てるお金が減るため行政サービスの低下などの影響が懸念されます。



2年度の流出額 24億9000万円

びん・かん資源の回収経費 (年間) 約24億円	特別養護老人ホーム等の施設整備補助金800人分 (一人300万円) 24億円	小学校41校分の運営・維持経費 (年間) 約23億円
-------------------------	--	----------------------------

Q2 寄附にはどんなメニューがあるの？

A2

区には以下のような寄附の制度があります。

- 寄附制度
  - 区民の取り組みは16面へ!
  - 荻外荘の復原・整備
  - 日本フィルの被災地支援活動の応援
  - 新型コロナウイルス感染症対策寄附金
- 4つの基金
  - 次世代育成基金
  - 社会福祉基金
  - NPO支援基金
  - みどりの基金

※上記事業以外にも寄附することができますので、お問い合わせください。  
区民生活部管理課ふるさと納税担当

Q3 寄附した時のお礼の品はありますか？

A3

区は4つの基金(A2参照)への寄附に対してお礼の品を設けています。しかし、自分が居住する自治体への寄附には、法の規定によりお礼の品を渡すことができません。そこで、区民の方の気持ちをさらに福祉につなげるため、お礼の品相当額を児童養護施設等にプレゼントできる制度を設けました(右記「児童養護施設等へのプレゼント制度」参照)。

区民以外の方がお礼の品を受け取らない場合にも児童養護施設等へプレゼントすることができます。

## 次世代育成基金

自然・文化・芸術・スポーツなどさまざまな分野での体験・交流を通じて、子どもたちが将来の夢に向かって視野を広げ、健やかに成長できるように設立されました。いただいた寄附は、中学生海外留学、国内子ども交流事業、交流自治体中学生親善野球大会などの区主催事業のほか、民間事業者が行う事業の助成金としても活用しています。

寄附をしていただいた方の声

子どもたちの成長が、  
一番の「返礼品」です

● 区内在住 菌部知昭さん



私が子どもの時は勤労奉仕という形でしたが、田植えや芋掘りなどをして学んだことは今もはっきり覚えています。今の子どもたちにも家庭や学校でできないことにたくさん挑戦してほしいですね。知らない場所で知らない人たちに会い、いろいろなことを経験して、笑ったり、感動したり、悔しがったりしながら一緒に何かをやり遂げる。教室ではできない体験を支援するという次世代育成基金の理念に感動して、機会があるごとにできる限りの寄附をしています。参加した子どもたちがそれぞれの体験を発表する報告会は、私にとっての「返礼品」ですね。異文化に触れた子どもたちが自分なりの思いを一生懸命言葉にする。一回り大きくなって堂々とした姿を見ると寄附してよかったと心から思います。これからも数多くの子どもたちの夢と成長を応援していきたいです。

## 荻外荘の復原・整備

国史跡「荻外荘(近衛文磨旧宅)」を往時の姿に復原し、歴史と文化を生かした史跡公園として整備します。荻外荘は、近衛内閣時代における重要な政治会談や組閣の舞台となった場所です。寄附をいただいた際は、お名前を園内に掲示します。一定額以上寄附していただいた方には、復原時に実際に使用する敷瓦をご寄附の記念に認定し、レプリカタイル付き認定証を発行します。

寄附をしていただいた方の声

地域の宝物を、  
私たちの手で守りたい

● 区内在住 長瀬久子さん



荻窪四丁目付近は緑が豊かで、それは荻外荘や大田黒公園があることが大きいと常々思ってきました。中でも荻外荘は昭和史の重要な舞台となった場所。歴史上意義深い場所を緑と共に残すことができたら、そしてそこに自分も参加できたら素晴らしいことだと感じ、この取り組みに寄附することを決めました。芝生広場では、現在も地域のお年寄りや子どもたちが触れあえる「荻窪むかし祭り」が開催されるなど、子どもたちの笑い声が絶えない憩いの場として親しまれていますが、復原・整備が完成すればさらに日本中からたくさんの人々が集まるにぎわいの場にもなることでしょう。そこから歴史を、そして未来を考えるきっかけにもなってくれば地域住民として本当にうれしいです。私も歴史が大好きなので、復原されたら足しげく通いたいと思います。その日が今から本当に楽しみです。

## 新型コロナウイルス感染症対策寄附金

新型コロナウイルス感染症対策として、区は地域医療を支援する取り組みを進めてきましたが、区民等の方々から寄附の申し出をいただき、「新型コロナウイルス感染症対策寄附金」のメニューを作りました。いただいた寄附金は、区内基幹4病院の「発熱外来」やPCRスポットへの支援、検査を実施する診療所への支援、マスク等の備蓄等に活用しています。

寄附をしていただいた方の声

医療従事者の皆さんのおかげで、今元気に過ごせています。恩返しに何かできないかと考えていたところ、この制度を見つめました。医療機関へのサポートをよろしく願います。

杉並区で生まれ育ち、区内の病院にお世話になっているため、少しでもお役に立ちたくて寄附します。一人一人が関わりを持つという、当事者であることを忘れたいと思います。



かけがえない命を守るため、日夜奮闘してくださっている医療関係者の皆さんに感謝し、本当に微力ではありますが気持ちを表したいと思います。

医療関係者をはじめ、社会生活を支える全ての方々の尽力によって、多くの人の命や暮らし、社会が保持されていることに感謝します。

医療崩壊せずに収束できることを願ってやみません。医療従事者の方々が少しでも元気になるように、最大の援助をお願いします。

お礼の品をもらえない区民の方もプレゼントはできます！

## 児童養護施設等へのプレゼント制度

4つの基金に寄附した区民の方、またはお礼の品を辞退した区民以外の方は、お礼の品相当額を児童養護施設等にプレゼントできます。プレゼントは杉並区共通商品券として施設等に送られます。物品の購入を通じて地域の活性化にも役立っています。



## 寄附の申請方法

「ふるさとチョイス」ホームページから申し込み  
「ふるさとチョイス」杉並区ページ